



5月17日

土曜日

発行所(〒371-8666) 前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社
(総合)027-254-9911
(編集)027-254-9933
(広告)027-254-9944
(販売)027-254-3131
(事業)027-254-9955
©上毛新聞社 2014年

ジーイー・メディカル

オゾン水生成器販売

医療施設や 食品製造向け 薬品使わず消毒期待

オゾン発生器製造のジーイー・メディカル(前橋市問屋町、小林治重社長)は、自社開発した「オゾン水生成器」の製造販売を始めた。薬品を一切使わないのが特徴。消毒が必要な医療・高齢者施設や食品製造の現場での需要を見込み、販路を開拓する。

人体への影響が懸念されるが、室内に滞留する心配はない。

小林社長は「ノロウイルスや大腸菌対策が必要な施設は多い。消毒後にオゾンは酸素になるので、安全性が高く、環境にも優しい」と説明する。

昨年11月に開発を開始。ことし3月下旬に完成した。すでに新潟県の漬物製造工場から注文を受けたほか、県内高齢者施設から見積もり依頼もある。野菜の洗浄や浴槽消毒にも効果が期待でき、家庭向け製品の開発も進めている。

同社は2000年に創業。01年にオゾン発生器を商品化。05年からオゾン濃度を測るオゾンチェッカーの生産を始めた。05、11年に県の「二社一技術」認定を

オゾン水生成器は酸で別売りとなる。

素を原料にし、水道水にオゾンを溶け込ませる。消毒効果があると、1mm程度のオゾン水は0.5mm以上で消毒効果が期待できるとして精製する。本体は幅20センチ、高さ55センチ、奥行き43センチで、重さ28キロのコンパクト設計。家庭用電源で使用できる。価格は税抜き45万円程度。シンクは受注生産見込む。

精製過程で不要になったオゾンは、チューブを通して外部に排出する。高濃度になると

消毒効果が期待できるとして、アルコール消毒は手荒れの原因で「施設従業員の悩みの種」(同社)となっており、需要が高いと判断した。年間50台の販売を見込む。



開発したシンク付きのオゾン水生成器

受けた。従業員2人、資本金300万円。問い合わせは同社(8027-2108166)へ。